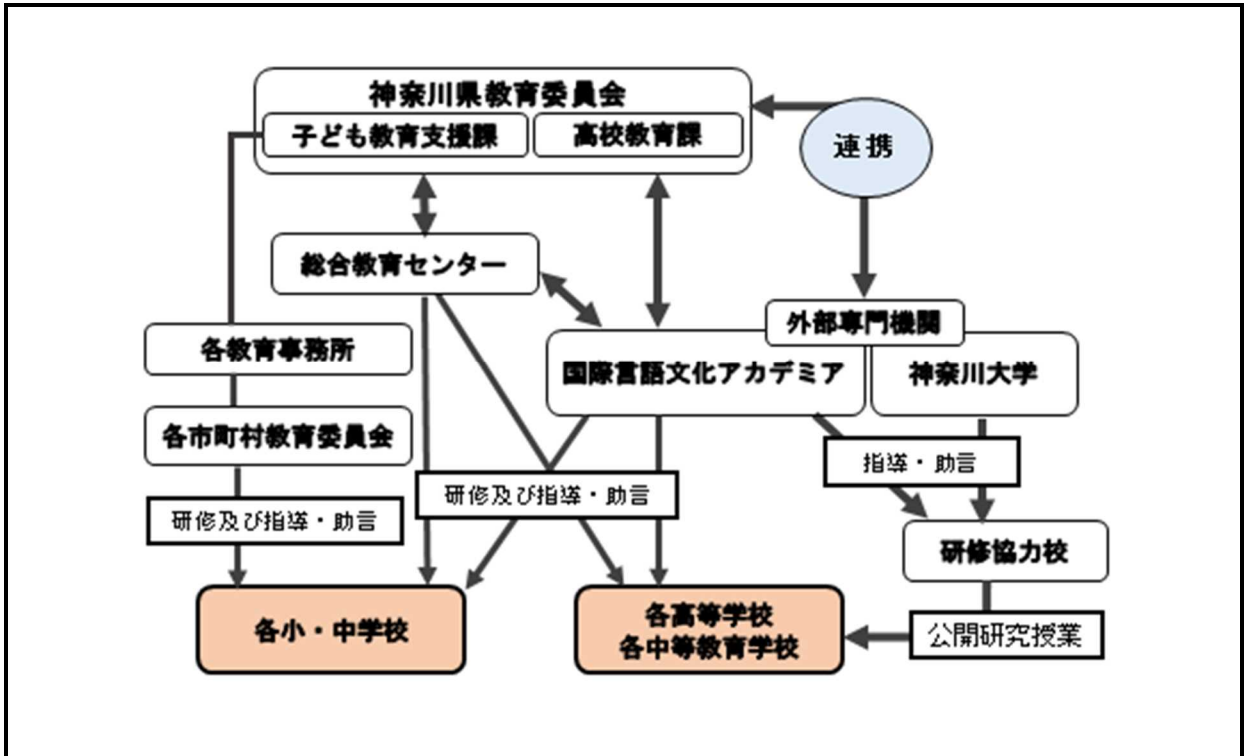


(様式3-2)

神奈川県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

【高等学校】

《目標達成に向けた取組》

目標を達成するため、以下の取組を実施する。

① 「求められる英語力を有する英語担当教員の割合」について

「英語教員指導力向上研修」を実施して英語教員の英語力及び英語指導力を向上させるとともに、管理職対象及び英語教員対象の教育課程説明会及び総合教育センターの指定研修において、英語教員の外部検定試験の受験を奨励していく。また、外部検定試験の受験料を支援し、教員が自身の英語力を把握できるようにする。

② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について

研修協力校において公開研究授業や研究発表、近隣中学校の授業視察等により、生徒の英語力向上に向けて参考となる授業や取組事例を周知し授業改善を図る。また、総合教育センター及び県立国際言語文化アカデミアと連携し、学校訪問による授業視察及び指導・助言により英語教員の指導力を高め、生徒の英語力の向上につなげる。また、県事業として外部検定試験の受験料を支援し、生徒が目標を持って英語学習に取り組み、自身の英語力を把握できるようにする。

③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について

全校が『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標を設定するとともに、スピーキングテスト及びライティングテストを必ず行うこととし、教育課程調査において、指導主事が、訪問校の実施状況を確認して指導・助言を行う。また、各校が年間指導計画と『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標を併せて生徒に配付することによって、全校が自校の指導目標を公表することとする。

④ 「生徒の英語による言語活動時間の割合」について

研修協力校において、公開研究授業や研究発表、近隣中学校の授業を視察するなどして、生徒主体の授業の組立て方について研究する。さらに研究の成果は、公開研究授業を通じて広く普及する。公開研究授業には、研修協力校と県が指定するグローバル教育研究推進校からも担

当者が参加し、研究協議においてよりよい授業づくりについて意見を交換する。

また、総合教育センターが行う指定研修及び県立国際言語文化アカデミアが行う「英語教育アドヴァンスト研修」や「英語教員指導力向上研修」等を通して、各校の授業改善を図り、全体の半数の学校で、ペア・グループワーク等を通じた言語活動を中心とした授業が行われるように取り組む。

⑤ 「各科目におけるスピーキングテスト及びライティングテストの実施状況」について

研修協力校による研究発表を通して参考となるパフォーマンステストの実施事例を全県の英語教員を対象とした教育課程説明会にて広く普及する。また、総合教育センターが行う指定研修及び県立国際言語文化アカデミアが行う「英語教育アドヴァンスト研修」や「英語教員指導力向上研修」等を通して、各校の授業改善を図り、各科目においてパフォーマンステストが着実に実施されるよう取り組む。

⑥ 「英語担当教員の英語使用状況」について

研修協力校及びグローバル教育研究推進校による公開研究授業や研究発表を通して参考となる授業や取組事例を、全県の英語教員に広く普及する。その際、優れた授業を収録したDVDや文部科学省等が作成した映像教材などを活用する。また、総合教育センターが行う指定研修及び県立国際言語文化アカデミアが行う「英語教育アドヴァンスト研修」や「英語教員指導力向上研修」等を通して、各校の授業改善を図る。

⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について

現在の取組を継続・検証していく。また、総合教育センター及び県立国際言語文化アカデミアと連携し、学校訪問による授業視察及び指導・助言を行う。

《検証・改善》

教員の数値目標達成に向けては、以下の方法でその進捗を定期的に管理し改善に努める。

- 県内全高等学校に対する英語教育実施状況調査（英語教員の外部検定試験受験結果等の把握を含む）〔12月〕
- 「英語教育アドヴァンスト研修」参加者に対する「教師向けCAN-DOリスト」による調査〔1月〕
- 「英語教育アドヴァンスト研修」参加者に対する授業観察〔6月、11月〕
- 「英語教育アドヴァンスト研修」修了者に対する追跡調査〔5月～11月〕
- 教育委員会、総合教育センター指導主事による学校訪問時における、管理職及び教員に対する聞き取り調査〔通年〕

【中学校】

《目標達成に向けた取組》

目標を達成するため、以下の取組を実施する。

① 「求められる英語力を有する英語担当教員の割合」について

授業力の向上を目的に行っている「英語教員指導力向上研修」において、授業中に必要とされるスピーキングやライティングといった能力向上のための講座を実施し、英語教員の英語力向上も図っていく。さらに、市町村教育委員会に対して、英語力向上のための研修の実施を依頼するとともに、英語教員対象の教育課程研究会にて外部検定試験の受験を奨励していく。

② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について

英検3級程度の英語力を身に付けるために必要とされる5領域それぞれの指標を「CAN-DOリスト」形式で市町村教育委員会に示し、各中学校における授業改善を促進する。さらに、生徒の英語への興味関心を高め、進んで英語を学ぶ姿勢を身に付けさせるため、「英語教員指導力向上研修」、教育課程研究会及び学校訪問等において、参考となる授業や取組事例を紹介する。

③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について

「英語教員指導力向上研修」、教育課程研究会及び学校訪問等で、域内全中学校において平成28年度までに設定された『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標に基づく指導とそ

の改善を推進するとともに、市町村教育委員会に対して各中学校の『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標』の提出を依頼する。

④ 「生徒の英語による言語活動時間の割合」について

「英語教員指導力向上研修」において、参考となる授業や取組事例を周知することで各校の授業改善を図り、平成 29 年には全体の 7 割以上の学校で、ペア・グループワーク等を中心とした英語による言語活動が授業の中で行われるように取り組む。

⑤ 「各科目におけるスピーキングテスト及びライティングテストの実施状況」について

スピーキングテスト及びライティングテストの実施状況を確認し、「英語教員指導力向上研修」、教育課程研究会及び学校訪問等において指導・助言を行う。

⑥ 「英語担当教員の英語使用状況」について

「英語教員指導力向上研修」を実施するとともに、教育課程研究会及び学校訪問等で参考となる授業や取組事例を周知することで各校の授業改善を図る。

⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について

市町村教育委員会は研修計画を県教育委員会に提出する。県教育委員会は、必要に応じて研修回数を増やすなど、市町村教育委員会に依頼する。

《検証・改善》

教員の数値目標達成に向けては、以下の方法でその進捗を定期的に管理し改善に努める。

- 県内全中学校に対する英語教育実施状況調査（英語教員の外部検定試験受験結果等の把握を含む） [12 月]
- 市町村教育委員会、県教育委員会指導主事による学校訪問時における、管理職及び教員に対する聞き取り調査 [通年]

【小学校】

《目標達成に向けた取組》

目標を達成するため、以下の取組を実施する。

⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について

平成 27 年度から実施している「小学校教員外国語活動指導力向上研修」では、各小学校 1 名の中核教員への研修を進めてきた。平成 29 年度までに 1 人目の研修が完了するため、各小学校 2 人目の研修を開始し、研修実施回数及び研修受講者数の拡充を図る。また、各小学校における中核教員による校内研修の充実を図る。さらに、県立国際言語文化アカデミアが実施する、市町村教育委員会・教育研究会単位の出張研修の活用を促進する。

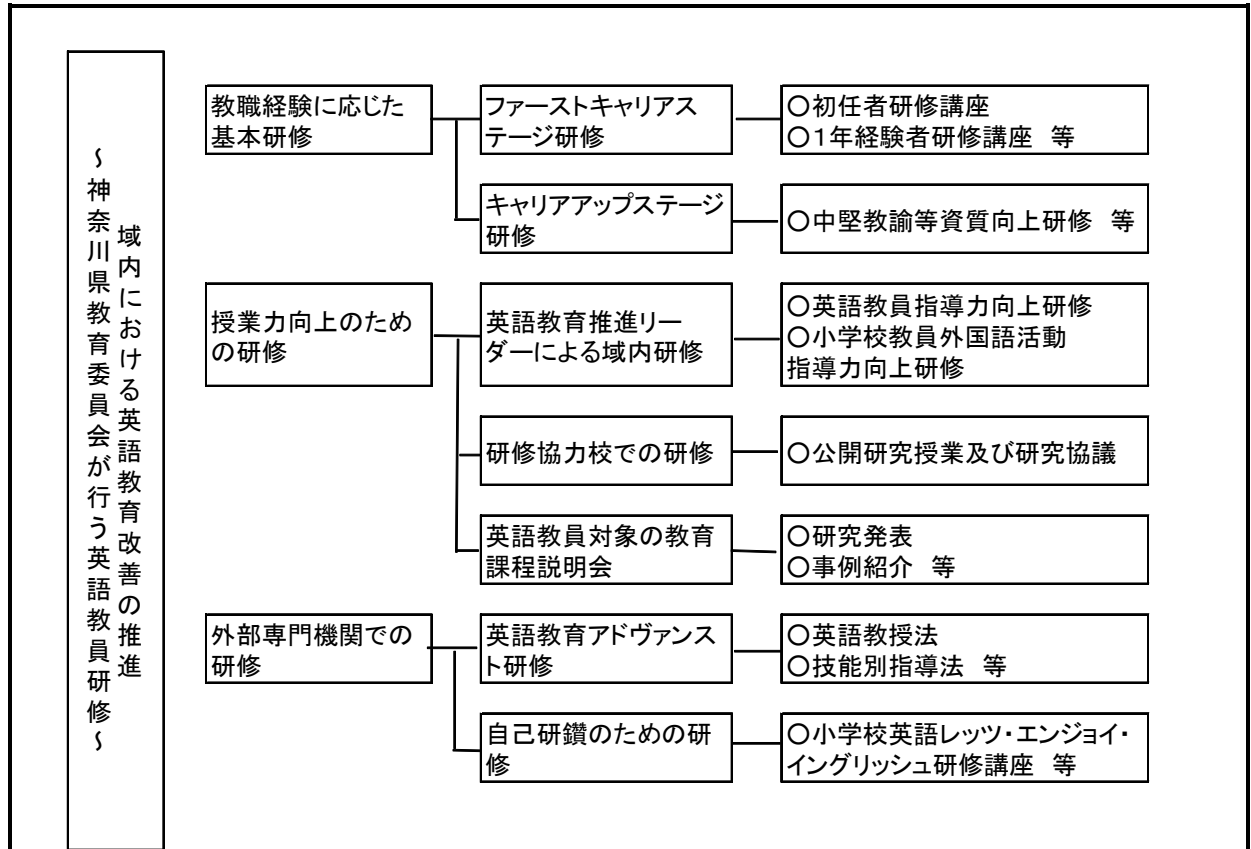
さらに、市町村教育委員会は、各小学校で行う校内研修の内容や課題について集約し、県教育委員会に報告する。

《検証・改善》

教員の数値目標達成に向けては、以下の方法でその進捗を定期的に管理し改善に努める。

- 研修実施回数、受講者数について実施後の数値を把握する。
- 国際言語文化アカデミアが実施する「出前研修」実施状況について把握する。

(3) 研修の体系と内容の具体



【高等学校】

○ 初任者研修講座

対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員初任者
目的	学習指導目標を体系的に理解し、カリキュラム・マネジメントの視点を持って、授業づくりに必要な基礎的・基本的な知識や技能及び教科指導の技術を身に付ける。
内容	学習指導要領、指導と評価の一体化、ICTの活用、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導法の工夫について理解する。また、模範授業を通して、学習目標の到達に向けた授業づくりの実践的指導法を学ぶ。
受講予定者数	80名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成29年度の計画	4技能の総合的な指導の具体について学び、実践的指導力を身に付ける。

○ 1年経験者研修講座

対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員1年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、研修等で得た知識や技能を活用し、実践的な授業力の向上を図る。
内容	教材の活用について理解を深め、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践的な授業力の向上を図る。研究授業の実践を通して、授業づくりにおける自らの課題を把握し、今後の実践に生かす手立てを考える。また、学校訪問サポートによる授業実践の観察と研究協議を行う。
受講予定者数	69名

評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 29 年度の計画	学校訪問サポートにより、生徒の実情に合わせた実践的指導力の充実を図る。
○ 2 年経験者研修講座	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 2 年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、教員としての自己の課題を認識し、教材活用能力の向上等、授業改善に向けての知識や技能の充実を図る。
内容	生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫改善を通して、「分かる授業」について理解を深める。研究授業の実践を通して、授業づくりにおける自らの課題を把握し、今後の実践に生かす手立てを考える。
受講予定者数	63 名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 29 年度の計画	生徒が抱える課題に対応するための教材作成や指導力の向上を図る。
○ 5 年経験者研修講座	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 5 年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、教科指導に関する専門的な知識や技能を習得し、生徒の個々の課題に応じた授業力の向上を図る。
内容	生徒個々の課題に対応した、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりについて理解を深める。 研究授業の実践を通して、授業づくりにおける自らの課題を把握し、今後に生かす手立てを考える。 英語による授業及びコミュニケーション能力の育成の実践例から、授業分析と授業評価の方法を学ぶ。
受講予定者数	44 名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成29 年度の計画	模範授業を通して、生徒の実情に合わせた目標を達成するための実践的指導法について学び、これまでの経験からのアイデアを共有し、授業力の向上を図る。
○中堅教諭等資質向上研修講座	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 10 年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、授業改善に向けた授業づくりのための技術を高めるとともに、組織的に授業改善に取り組むための手法について学ぶ。
内容	組織的な授業改善に向けて、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりや情報教育の推進、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりをめざし、教科指導の具体的な工夫を図る。カリキュラム・マネジメントを意識した単元（題材）構想や評価計画を踏まえた意図的・計画的な授業づくり、評価の観点に基づく評価規準の設定や指導と評価の一体化等を意識した授業展開の実現に向けた取組を通して、授業改善の意義を理解する。
受講予定者数	22 名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 29 年度の計画	模範授業及び模擬授業を通して、生徒の実情に合わせた目標を達

	成するための実践的指導法について学ぶ。また、評価計画や授業計画の立案に当たり、組織的に取り組むことの重要性を踏まえ、授業改善を推進するリーダーとしての資質を身に付ける。
○ 公開研究授業	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 ※教育事務所の指導主事及び研修協力校の近隣中学校の教員も対象とする。
目的	研修協力校及びグローバル教育研究推進校の授業を公開するとともに、研究協議を行い、各校の授業改善を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業の後、研究協議により、参加者は、研修協力校及びグローバル教育研究推進校の取組について理解を深めるとともに、効果的な指導方法について意見を交換する。 外部有識者（神奈川大学、国際言語文化アカデミア）が指導・助言を行う。 ※公開研究授業の準備段階においても外部有識者が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
受講予定者数	40名程度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 参加者対象のアンケートにより評価する。 英語教育実施状況調査の結果により評価する。
平成29年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」に係る研修協力校1校が継続して研修協力校となる。 上記の1校に加えて新たに1校を研修協力校とする。 県指定のグローバル教育研究推進校でも公開研究授業を行う。
○ 教科別教育課程説明会（外国語・英語）	
対象	全課程教員 ※各教育事務所の指導主事も対象とする。
目的	<ul style="list-style-type: none"> 英語による授業の効果的な指導法について研修を行い、英語教員の指導力向上を図る。 英語4技能をバランスよく育成する指導方法について研修を行い、各校の授業改善を図る。
内容	研修協力校及びグローバル教育研究推進校の研究担当者が、各校における研究実践について発表する。
受講予定者数	170名程度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 参加者対象のアンケートにより評価する。 英語教育実施状況調査の結果により評価する。
平成29年度の計画	大学教授による指導と評価に関する講演を通じて、各校での評価方法の改善を図る。
○ 「英語教育アドヴァンスト研修」	
対象	県内の優秀教員
目的	英語教員の英語指導力向上を効果的に推進できる人材を育成し、その成果を他の教員に還元することで、英語教員全体のレベルアップを図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 英語による討論における手順と留意点 英語によるプレゼンテーション資料・レポートの書き方 言語習得を促す教材開発、教材活用 自らの授業を改善する方法（課題発見・仮説の設定・成果の検証） 教科書を活用して異文化理解を促進する手法

	・その他
受講予定者数	15名
評価方法	・参加者対象のアンケート、授業観察により評価する。 ・受講修了者が講師となって行う研修の回数により評価する。
平成29年度の計画	平成28年度から5年間で約75名の中核教員を育成するため、15名の教員を対象とする。
平成32年度までの計画	対象を15名程度として、研修を継続する。
○ 「英語教員指導力向上研修」	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員
目的	・英語教員の英語力の向上を図る。 ・英語による授業を行うための実践的な指導法についての研修を行い、各校での授業改善を図る。
内容	・英語教育推進リーダーを講師とする域内研修。 ・「話すこと」「書くこと」「読むこと」「聞くこと」に係る言語活動、教室英語、語彙・表現、コミュニケーションを支えるための文法について学ぶ。
受講予定者数	300名
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。 ・英語教育実施状況調査の結果により評価する。
平成29年度の計画	研修を継続するとともに、次年度の実施に向けた検証を行う。
【中学校】	
○ 初任者研修講座	
対象	中学校の外国語教員初任者
目的	学習指導目標を体系的に理解し、カリキュラム・マネジメントの視点を持って、授業づくりに必要な基礎的・基本的な知識や技能及び教科指導の技術を身に付ける。
内容	学習指導要領、指導と評価の一体化、ICTの活用、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導法の工夫について理解する。また、模範授業を通して、学習目標の到達に向けた授業づくりの実践的指導法を学ぶ。
受講予定者数	25名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成29年度の計画	4技能を統合した指導法の具体について学び、実践的指導力を身に付ける。
○ 1年経験者研修講座	
対象	
目的	
内容	県内4教育事務所で対応しています。
受講予定者数	
評価方法	
平成29年度の計画	
○ 2年経験者研修講座	
対象	中学校の外国語教員2年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、教員としての自己の課題を認識し、教材活用能力の向上等、授業改善に向けての知識や技能の充実を図る。
内容	生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の

	工夫改善を通して、身に付けさせたい資質・能力を育む授業について理解を深める。目標達成のための効果的な教材の作成と活用法の実践例を共有する。
受講予定者数	29名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成29年度の計画	生徒の英語による言語活動の充実を図るための教材作成や指導力の向上を図る。
○ 5年経験者研修講座	
対象	中学校の外国語教員5年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、教科指導に関する専門的な知識や技能を習得し、生徒の個々の課題に応じた授業力の向上を図る。
内容	生徒個々の課題に対応した、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりについて理解を深める。 英語による授業及びコミュニケーション能力の育成の実践例から、授業分析と授業評価の方法を学ぶ。
受講予定者数	30名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成29年度の計画	生徒の実情に合わせた目標を達成するための実践的指導法について学び、これまでの経験からのアイデアを共有し、授業力の向上を図る。
○ 中堅教諭等資質向上研修講座	
対象	中学校の外国語教員10年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、授業改善に向けた授業づくりのための技術を高めるとともに、組織的に授業改善に取り組むための手法について学ぶ。
内容	組織的な授業改善に向けて、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりや情報教育の推進、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりをめざし、教科指導の具体的な工夫を図る。カリキュラム・マネジメントを意識した単元（題材）構想や評価計画を踏まえた意図的・計画的な授業づくり、評価の観点に基づく評価規準の設定や指導と評価の一体化等を意識した授業展開の実現に向けた取組を通して、授業改善の意義を理解する。
受講予定者数	23名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成29年度の計画	模範授業及び模擬授業を通して、生徒の実情に合わせた目標を達成するための実践的指導法について学ぶ。また、評価計画や授業計画の立案に当たり、組織的に取り組むことの重要性を踏まえ、授業改善を推進するリーダーとしての資質を身に付ける。
○ 「英語教員指導力向上研修」	
対象	県内の各教育事務所（4所）が選出した教員
目的	<ul style="list-style-type: none"> 英語教員の指導力の向上に資する研修を実施することで、教員自身が英語力を向上しようとする意欲を身に付ける。 英語の4技能に関する研修を通して、「CAN-DOリスト」（4技能の学習到達目標を設定したもの）の効果的な活用方法を理解する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 英語教育推進リーダーを講師とする域内研修。

	・「話すこと」「書くこと」「読むこと」「聞くこと」に係る言語活動、教室英語、語彙・表現、コミュニケーションを支えるための文法について学ぶ。
受講予定者数	120名（平成31年度までの研修計画に基づき各地区より選出。）
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。 ・英語教育実施状況調査の結果により評価する。
平成29年度の計画	求められる英語力を有していない英語教員を優先して研修対象者に含めるようにする。

【小学校】

○ 「小学校教員外国語活動指導力向上研修」

対象	県内の各教育事務所（4所）が選出した教員
目的	・小学校教員の外国語活動における指導力の向上に資する研修を実施し、教員自身が英語力を向上しようとする意欲を身に付ける。
内容	・英語教育推進リーダーを講師とする域内研修。 ・教室英語、絵本の活用、単語や表現の学習、ALTとの打合せ、歌の活用、アルファベットの音、指導案の作成、他教科と関連した内容を取り入れた活動について学ぶ。
受講予定者数	121名（平成31年度までの研修計画に基づき各地区より選出。）
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。
平成29年度の計画	・県域の全ての小学校への中核教員の配置を完了する。 ・各小学校における校内研修の推進・充実を図る。 ・新学習指導要領の内容や新教材についての理解を図る

○ 自己研鑽研修講座「小学校英語レッツ・エンジョイ・イングリッシュ研修講座」（総合教育センター主催）

対象	小学校教員・特別支援学校教員
目的	小学校外国語活動の授業の充実に向けて、授業ですぐに活用できる活動を習得し、実践的な指導力の向上を図る。
内容	児童の興味・関心を踏まえた活動やその進め方について理解する。
受講予定者数	30名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成29年度の計画	先進的な取組の体験・実際の授業視聴等を通じて、外国語活動の目標を実現するための具体的な方法やポイントについて理解を深める。

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組			外部専門機関等
	県立総合教育センター主催	県立国際言語文化アカデミア主催	教育委員会 高校教育課主催	
4月	指定研修 (初任者、 1・2・5 年経験者・ 中堅教諭等 資質向上研 修受講者対 象)		・校長対象教育課程説明会	
5月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・副校長・教頭対象教育課程説明会	
6月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・研修協力校における公開研究授業準備 ・研修協力校による近隣中学校の授業視察	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
7月		・「英語教育アドヴァンスト研修」 ・英語教員対象夏期自己研鑽研修	・研修協力校における公開研究授業準備 ・研修協力校による近隣中学校の授業視察	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
8月	・「小学校教員外国語活動指導力向上研修」(小)	・「英語教育アドヴァンスト研修」 ・「英語教員指導力向上研修」(中) ・英語教員対象夏期自己研鑽研修 ・英語教育公開フォーラム		
9月	・「小学校教員外国語活動指導力向上研修」(小)	・「英語教員指導力向上研修」(中)	・研修協力校における公開研究授業準備 ・研修協力校による近隣中学校の授業視察	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
10月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・校長対象教育課程説明会 ・副校長・教頭対象教育課程説明会 ・研修協力校等における公開研究授業	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
11月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・研修協力校等における公開研究授業 ・教科別教育課程説明会(外国語・英語)	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。

12月	・「英語教員 指導力向上 研修」(高)		・「英語教育アドヴ ァンスト研修」		
1月	・「英語教員 指導力向上 研修」(高)		・「英語教育アドヴ ァンスト研修」		
2月	・「英語教員 指導力向上 研修」(高)	↓			
3月					
【その他の取組】 ・ 県立国際言語文化アカデミア主催による英語教員対象の各種講座に希望者が申し込み、主体的に指導力の向上を図る。					

